

／吉浦です。テーマについて話
す。
傾聴面接は社会福祉で最も基
本の考え。専門職においてはま
だあまり理解されていない。
意義について話す。
まず、面接について。
相談室、それ以外での面接も含
む。
面接技術の中で最も基本とな
る。
傾聴とは意識的に耳を傾け、聞
くこと。
面接中に、技術として聴くにはテ
クニックがいる。
初任者の中には、相手のペース
でひたすら聞く人もいる。
が、これは誤解。来館者に安心
感を与えるが。
よりよく聞くためには、適切な質
問をはさむことも大事。
面接を受ける人の安心感、満足
感を得ること。利用者自身の困
難に関わることも大切。
これがないと、どんな姿勢であつ
ても不十分になる。
よりその人の困難の全体像とか
かわらないといけない。
クライアントの理解にもつなが
る。どう面接者が理解し、援助し
ていくかが決まる。
もう1つの意味。
クライアントは語るとことから始ま
る。
語ることで、深く自分を理解でき
るのだ。新たな自己認識をもたら

せる。
この時、十分に学んでいない人
の問題点。
傾聴面接を正しく理解し、実践し
ていけば問題ないのだが。
それだけ福祉では大切なこと。